第20回 FDフォーラム

「内部質保証」と「学修評価の可視化」

山田 礼子氏
（同志社大学 社会学研究科・社会学部 教授
高等教育・学生研究センター長）

2018年度からスタートした認証評価第三期では、「内部質保証」と「学修評価の可視化」が重点項目となりました。2018年度大学評価を受審した大学において、要改善・要改正が多く指摘されており対応が遅れています。2021年度受審予定の本学においても、新しい基準を分析するとともに、社会の変化に伴う「新しい学力」の要請とそれについての方法等について学習すべく、この問題について第一線で活躍されている山田先生に、理論、現場、海外との比較等で様々な示唆をいただきたいと思います。

11月14日（木）16:00～17:30

名古屋校舎　グローバルコンベンションホール
（中継：豊橋校舎　6号館　623教室）

○講師プロフィール

同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業、カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学研究科社会科学・比較教育学専攻博士課程修了。同志社大学教授、同大学前社会学研究科・学部長、同大学元学習支援・教育開発センター所長、大学教育学会会長、国立大学法人評価委員、大学基準協会研究所運営委員、日本高等教育学会理事、初年次教育学会理事、私学高等教育研究所研究員

◆研究領域◆

高等教育研究、学修成果の測定、STEMと文理融合、STEM人材のグローバル・コンピテンシー獲得の測定などについて、日本のみならず、国際比較実証研究をベースに実施。

◆主な著書◆

『21世紀型学修成果の方向性』（仮題）（単著）東信堂　2019年（近刊）
『New Directions of STEM research and Learning in the World Ranking Movement: A Comparative Perspective』, Palgrave Macmillan, 2018.（編著）
『高等教育の質とその評価：日本と世界』（編著）東信堂　2016年　他多数。

○問い合わせ先　名古屋学習・教育支援センター担当：安井　内線20230